

横浜市立中田小学校

学校評価報告書

(平成25年度～平成27年度)

共通取組 重点取組	平成25年度		総合
	具体的取組	自己評価結果	
1 確かな 学力	・朝学習・朝読書の時間を活用し、基礎的・基本的な知識、技能の習得を図る。 ・生活、総合的学習の時間を重点研究に取り組み、地域の材を生かした学習活動を展開する。	・児童の学力向上のため、学校全体、学年内での共通理解のもとに研究を進めることができた。来年度もより充実した学習となるよう引き続き研鑽を深める。	A B C D
2 豊かな 心	・講師を招いての人権講演会や、各学級で年間1回以上の道徳授業公開を行い、道徳的実践力と人権感覚を育む。 ・月に一度、「音楽朝会」を実施し、情操教育を充実させる。	・地域の福祉施設館長による講演会を実施し、児童、教職員ともに障害者理解を深めることができた。道徳の授業公開は来年度も継続していく。	A B C D
3 健やかな 体	・「心も体も元気アップ」のテーマのもと、学校保健委員会の活動を軸に、「みんなで走ろう」「縄跳び大会」「マラソン大会」「いきいきキッズ」等の行事を通して学校全体で児童の体力向上を支援する。	・クラスや学年だけでなく、委員会やクラブ活動など学校全体を取り込んだ共通目標が定着した。今後はさらなるステップアップに向け、内容を精選していく	A B C D
4 児童・生 徒指導	・教員が朝会で生活目標を指導したり、児童会が中心になって挨拶運動を実践したりする。 ・中田スタンダードを基に、全職員の指導観、規範意識を醸成していく。	・挨拶への意識が向上しているとの評価がある一方、厳しい指摘も多い。継続して指導を続ける。 ・教職員間の指導観について、さらなる共通理解を深めていく。	A B C D
5 特別支援 教育	・個別教育支援計画や指導計画を立て、全ての教職員が関わりながら、それぞれの児童にあった指導を行う。 ・特別支援委員会を中心に、児童に関する情報交換を行う。	・昨年度より個別支援計画、指導計画の作成が進んだ。 ・今後は教職員間での情報交換をより密に行っていく。	A B C D
6 学習指導	・児童の興味・関心を生かし、学習意欲や問題意識を高める学習を展開する。 ・教材研究、教材開発を学年で協力して行い、授業の質的向上に努める。	・学年研を基盤に、児童の実態に応じた授業展開、学習教材の研究を行うことができた。今後も研究、研鑽に努めていく。	A B C D
7 地域連携	・「参画協働」をキーワードに、地域の方や地域の文化に触れる機会を創出する。 ・学校評価をもとに、地域懇話会などの機会を生かしながら、地域の声を指導改善に活かす。	・地域の協力をいただき、その教育力を学習指導に生かしながら特色ある学習活動が展開できた。 ・今後は、児童の地域行事への参加を呼びかけていく。	A B C D
人材育成 組織運営	・計画的な校内研修の実施により、児童指導、危機管理対応能力などの教師に必要な能力の向上に努める。 ・メンターチーム（10年次未満）を充実させ、授業参観を中心に学習指導と生活指導双方の実践力を高める。	・様々な教育的課題に対応するための研修を行ってきた。来年度はより系統的、計画的な実施を進めていく。 ・メンターチームによる相互啓発的な授業公開や研修会が実施できた。	A B C D
小中貫 教育 推進 フロク 内相互評価	・年2回の授業公開や教科・領域別研修、学業地連懇談会などを通して、小中の教職員による指導観や意見の交換機会がもたれている。 ・6年児童の授業参観、中学校の出前授業、クラブ交流などを通し、児童・生徒間でも交流を深めることができていく。 ・小中の新旧担任による入学後の情報交換の機会をもてるようにしていきたい。		
学校関係者 評価結果	・ホームページの充実により、情報発信を行ってほしい。 ・挨拶をしっかりとできる子どもが増えてきているが、さらに向上していくとよい。引き続きしっかりと指導を続けてほしい。 ・マーチングバンドの活躍がすばらしく、地域の誇りである。		
評価結果に 対する 学校の見解	・教職員自らがこれまで以上に挨拶を励行し、児童の意識を高めていくようにする。 ・次年度も本校の教育活動について、学校説明会、授業参観・懇談会、地域懇話会などの機会を生かして発信していく。また、学校だより、ホームページの内容についても、さらなる充実を図っていく。		

学校経営 中期目標 達成状況	・昨年度まで取り組んできた「確かな言語能力」を基盤に、「中田のまち・人から学ぶ生活科・横浜の時間」の授業研究に取り組んだ。児童は地域の「人・もの・こと」と積極的に関わりながら、中田のまちへの愛着を深めていくことができた。今後は得た知識・情報を活用し、深めていくことが課題である。 ・「心と体の健康」への取組においては、体力向上を目的とした各種の行事に児童が主体的に参加し、効果を上げてきた。今後も引き続き、体力向上に向けて取り組んでいく。
----------------------	--

共通取組 重点取組	平成26年度		総合
	具体的取組	自己評価結果	
1 確かな 学力	・朝学習・朝読書の時間を活用し、基礎的・基本的な知識、技能の習得を図る。 ・生活、横浜の時間を引き続き重点研究として取り組み、地域の人・ものとの関わりが深まる学習活動を展開する。	・授業が楽しく、わかりやすいと感じている児童が多い一方で、意見の表出には苦手意識も高い。さらに個に応じた指導の充実に努める。	A B C D
2 豊かな 心	・人権週間における全校をあげた取組や、各学級で年間1回以上の道徳授業公開を通して、道徳的実践力と人権感覚を育む。 ・月に一度、「音楽朝会」を実施し、情操教育を充実させる。	・いじめ防止をテーマに、職員研修や人権講演会を行い、児童のみならず教職員も意識を高めることができた。	A B C D
3 健やかな 体	・全校で実施している朝の保健指導や、「みんなで走ろう」「縄跳び大会」「マラソン大会」「いきいきキッズ」等の体育的行事を通して学校全体で児童の健康・体力の維持増進を支援する。	・さまざまな体育的行事・イベントによって、子どもたちへの運動への関心を高め、継続的な日常活動を展開することができた。	A B C D
4 児童・生 徒指導	・朝会での生活目標の指導を継続する。 ・中田スタンダードの内容を精選し、全職員で指導観を共通理解し、規範意識を醸成していく。	・学年内で歩調をそろえて指導をする体制ができつつある。 ・情報を共有し、複数で対応する職員の意識をさらに高めていく必要がある。	A B C D
5 特別支援 教育	・個別教育支援計画や指導計画を立て、全ての教職員が関わりながら、それぞれの児童にあった指導を行う。 ・特別支援委員会を中心に、児童に関する情報交換を行う。	・個別支援計画・指導計画にもとづいて指導・支援をおこなう意識が高まりつつある。 ・情報の共有、指導の協働を一層図る必要がある。	A B C D
6 学習指導	・児童の興味・関心を生かし、学習意欲や問題意識を高める学習を展開する。 ・教材研究、教材開発を学年で協力して行い、授業の質的向上に努める。	・生活・総合においては、子どもの意欲や関心を高める学習が展開できた。 ・個を生かす指導を一層工夫する必要がある。	A B C D
7 地域連携	・「参画協働」をキーワードに、地域の方や地域の文化に触れる機会を創出し、地域行事への積極的な参加を促す。 ・地域懇話会などの機会を生かしながら、地域の声を指導改善に活かす。	・地域の材の活用や地域の人材の授業参画に積極的に取り組み、子どもの関心を高める学習活動を実践することができた。	A B C D
人材育成 組織運営	・計画的、系統的な校内研修の実施により、児童指導、危機管理対応能力などの教師に必要な能力の向上に努める。 ・メンターチーム（10年次未満）を充実させ、授業参観を中心に学習指導と生活指導双方の実践力を高める。	・人権、特別支援等の研修を実施できた。さらなる充実が必要。 ・年次研修に講師を招くなど、授業力向上に工夫して取り組むことができた。	A B C D
小中貫 教育 推進 フロク 内相互評価	・小中担任による、入学後の情報交換を今年度より実施したが、有意義な取組となった。 ・その他の例年行っている取組については、情報共有、指導の方向性の共有、子ども・職員の実質的な交流の面から振り返り、より改善していく必要がある。		
学校関係者 評価結果	・登下校の安全指導が積み重ねられている一方で、個々の児童を見ると、規範意識や危機回避能力をさらに高めていく必要がある。 ・防災に関する取組について、情報発信と今後の協調がのぞまれる。 ・マーチングバンドの活動実績が評価できる。		
評価結果に 対する 学校の見解	・子どもの実態、めざす子どもの姿、9年間の成長段階について、ブロック内で共有できるよう改善を進め、地域の声を反映させながら、それをしっかりと見据えた本校の教育活動を展開する必要がある。		

学校経営 中期目標 達成状況	・生活科・横浜の時間を授業力向上・授業改善の切り口として、研修・研究に取り組んできた。地域の材を活用した単元を学級立ち上げで構成することで、子どもの追究の意欲を高めると共に、中田のまちの自然、文化、伝統に対する理解や愛着も深めることができた。「意見交流」を課題として、子どもの思考力・判断力・表現力をさらに高めていきたい。 ・児童のよりよい成長に向け、内面の陶冶が課題である。児童指導、人権教育、情操教育等、様々な面からの協調的な働きかけを工夫する必要がある。
----------------------	---

共通取組 重点取組	平成27年度		総合
	具体的取組	自己評価結果	
1 確かな 学力	・朝学習・朝読書の時間の活用 ・本時目標の明確化と目標にあった学習活動の工夫・学習集団の工夫 ・丁寧な見取りに基づく個に応じた指導		A B C D
2 豊かな 心	・人権週間を核とした全校的な取組 ・道徳授業の情報共有と公開 ・相手意識を大切に「聞く」指導の工夫 ・情操教育の視点からの、月例「音楽朝会」の改善と日常化の工夫		A B C D
3 健やかな 体	・体育関連行事の一層の充実 ・危機回避能力も含めた、健康保持に関する意識を高める情報発信と継続指導 ・食育の一層の充実		A B C D
4 児童・生 徒指導	・情報共有と複数指導が日常化できる、職員のチーム力向上 ・児童理解・指導、保護者対応についての研修の実施		A B C D
5 特別支援 教育	・個の特性や性格、成長課題をとらえた、個に寄り添う指導の展開 ・児童に関する情報と指導方針についての日常的な共有		A B C D
6 学習指導	・内面化を課題とした「聞く」指導の継続 ・国語科を核とした、考えを出し合い高め合う授業の工夫		A B C D
7 地域連携	・各学年に応じた、地域の文化や自然とより豊かにかかわる単元開発 ・学校地域相互の参画協働		A B C D
人材育成 組織運営	・重点研究、年次研修、メンター研修の一層の充実 ・校内研修の計画的な実施・機会の確保 ・校外研修、公開授業への参加奨励 ・学習指導と児童指導双方の実践力を高める、学年研機能の充実		A B C D
小中貫 教育 推進 フロク 内相互評価			
学校関係者 評価結果			
評価結果に 対する 学校の見解			

学校経営 中期目標 達成状況	
----------------------	--